

## 事務事業マネージメントシート

作成日 平成25年05月07日

事務事業名	いちごまつり支援事業				担当	産業環境部 農政課 園芸畜産係					
政策名	E	地域と産業が調和する活力あるまちづくり				電話番号	0285-83-8139				
施策名	1	農業の振興				<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業					
基本事業名						事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ				
法令根拠	真岡市補助金等交付規則						<input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H18 年度~)				
予算科目	1.一般会計	6.農林水産業費	1.農業費	4.園芸特産費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( 年度~ 年度)						
事業概要	いちごまつりは、「いちご生産量日本一」という地域資源を生かし、知名度アップと地域活性化を図るために、農業、商工業者が一体となって、平成18年度から開催している。平成21年に合併し、今年で7回目の開催となる。 <b>事業主体</b> いちごまつり実行委員会 <b>会場</b> 二宮コミュニティセンター(平成24年度) <b>内容</b> いちご狩り 1500名募集 参加費 大人1,000円(中学生以上) 小学生 200円 未就学児無料 各種模擬店及び交流イベント (このシートに記載されている平成20年度の実績は、合併前の旧真岡市の実績を記載しております。)										

## 1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段(主な活動)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)の推移									
	名称	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)			
24年度実績 ・補助金交付事務及びいちごまつり実行委員会事務局	ア 補助金額		1,200	1,000	1,000	1,000	1,000			
25年度計画 ・補助金交付事務及びいちごまつり実行委員会事務局	イ いちごまつり当日参加人数		8,000	8,000	8,000	12,000	12,000			
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)の推移	名称	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)		
・いちごまつり実行委員会	ア いちご狩り申し込み人数		4,310	3,851	2,574	3,997	4,500			
	イ 実行委員会予算額		3,720	3,555	3,060	3,250	3,000			
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦成果指標(対象における意図された対象の程度)の推移	名称	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)		
・いちごまつりの開催による知名度アップ	ア 県外いちご狩り申し込み数		965	901	613	1,066	5,466			
	イ ウ									
	工									
	オ									
④結果(どんな結果(上位施策)に結びつけるのか)	⑧上位成果指標(結果の達成度を表す指標)の推移	名称	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)		
・「生産量日本一のいちご」のPR及びいちご販売額の増加	ア いちご栽培面積(ha)		163.7	164.7	165.7	158.8	159.0			
	イ いちご販売高(億円)		63.0	66.0	68.8	66.0	66.0			
	ウ いちご生産量(t)		7,239	7,286	7,684	6,692	6,700			
	工									
	オ									
(2) 総事業費の推移	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)				
投 入 量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0		
		県支出金	千円	0	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0	0	0		
		一般財源	千円	1,200	1,000	1,000	1,000	1,000		
		事業費計(A)	千円	1,200	1,000	1,000	1,000	1,000		
人 件 費	正規職員従事人數	人	100	50	55	55	55			
		延べ業務時間	時間	2,000	1,800	1,800	1,800	1,800		
		人件費計(B)	千円	8,112	7,682	7,636	7,564	7,564		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	9,312	8,682	8,636	8,564	8,564			
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等										
①この事務事業を開始したきっかけは何か? いつごろどんな経緯で開始されたのか?	「いちご生産量日本一」という誇れる地域資源を生かし、知名度アップと地域活性化を図るために、農業、商工業者が一体となって、平成18年度に旧二宮町で「いちごまつり」を開催した。平成21年3月に合併後も継続して開催している。									
②事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	平成18年度に「県の誇れる町づくり事業」の補助金を導入して開催した。平成22年度から会場を二宮運動場から二宮コミュニティセンターに移動し開催をしている。各種イベントや模擬店に多数の来場者があり盛大に開催している。									
③この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	・いちご生産者から、いちご狩りをするまでの間、うどん粉病やダニ対策等のハウス管理をすることが難しい。という意見が寄せられている。									

## 2. 1次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか? ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある いちごまつりの開催は、県内外から多くの来場者があり、知名度アップ及び地域の活性化が図られ、市の施策に結びついている。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか? ・税金を投入して達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある いちごまつりの開催は、県内外から多くの来場者があり、知名度アップ及び地域の活性化を図るには重要な事業であり、公共関与をすることは、妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか? ・意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 県内外から多くの来場者があり、知名度アップ及び地域の活性化を図るためにには適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか? ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか? ・何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある いちご狩りに対する応募者は、募集人員を大きく上回りPR効果があるので向上の余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない いちごまつり支援事業を廃止することは、いちごまつり開催に支障をきたすので、廃止・休止はできない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか?	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか?	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 最小限の補助であり、削減余地はない。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 最小限の人件費であり、削減余地はない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? ・受益者負担が公正・公平になっているか?	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 一部補助で協賛金やいちご狩り参加料も徴収しており、公正公平である。

## 3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画）	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し ( <input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？		

## 4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1次評価結果の客觀性と出来具合	<input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不充分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客觀性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客觀的と言える	(5) 改革・改善による期待成果
(2) 2次評価者としての評価結果	①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（從来通りで特に改革改善をしない）	
(4) その他2次評議会議で指摘された事項		